離婚判決謄本（抄訳文）

Supreme＝最高
Superior＝ 上級

１．裁判所名：　アメリカ合衆国　ニューヨーク　州　　最高　裁判所

ニューヨーク　　郡支部

判決謄本に記載されている通りに First Middle の順に

２．夫の氏名：　（氏）　エリオット（名）トーマスジェイ

エリオット，トーマスジェイとエリオット，トーマスジョンは同一人物である。

国籍：　アメリカ合衆国

原告・被告の別：　原告　　被告　（いずれかに〇）

Plaintiff＝原告
Defendant＝被告

３．妻の氏名：　（氏）エリオット　　（名）洋子

エリオット洋子と山田洋子は同一人物である。

国籍：　日本

原告・被告の別：　原告　　被告　（いずれかに〇）

戸籍と判決謄本の氏名が違う場合この１文が必要

４．裁判の開始に必要な「呼出し」「命令」等、または「公示送達」がなされたか、
及び、被告が応訴したか否か。

１．　裁判の開始に必要な呼出し、命令等を被告が受領したか。　有　無（いずれかに〇）
２．　上記１．がなかった場合公示送達がなされたか。　有　無（いずれかに〇）
３．　被告人は応訴したか。　有　無（いずれかに〇）

５．離婚原因：　性格の不一致

６．未成年の子の親権：

共同親権に服する　夫が親権を行う　妻が親権を行う　（いずれかに〇）

（氏）エリオット　　（名）ジョンマイケル
エリオット　　メリーアン

判決謄本に記載されている通りに First Middle の順に

エリオット　ジョンマイケルと山田マイケルは同一人物である。
エリオット　メリーアンと山田メリーは同一人物である。

戸籍と判決謄本の氏名が違う場合この１文が必要

７．離婚判決確定日：　平成　７年　４月　１６日

翻訳者：　山田　洋子

お願い：　翻訳は原文に則して行い、翻訳した部分については、原文中に下線又はラインマーカーを付けて、その頭に上記和訳の番号（１～７）を記入して下さい。